

# 小中一貫教育

## 1. 小中一貫教育の目的

明野地区の小学校と中学校が連携し、小学校から中学校への接続がスムーズに行われるように、児童生徒の実態や指導のあり方等について、互いに理解を深めながら教育活動を展開することにより、学力向上と指導法の工夫改善を図る。また、系統的・組織的な教育活動の実践やきめ細かな情報交換を実施することで、より教育効果を高めるとともに、児童生徒の基本的な生活習慣の確立や効果的な生徒指導を推進することで、9年間を見通した子どもの育成に努める。

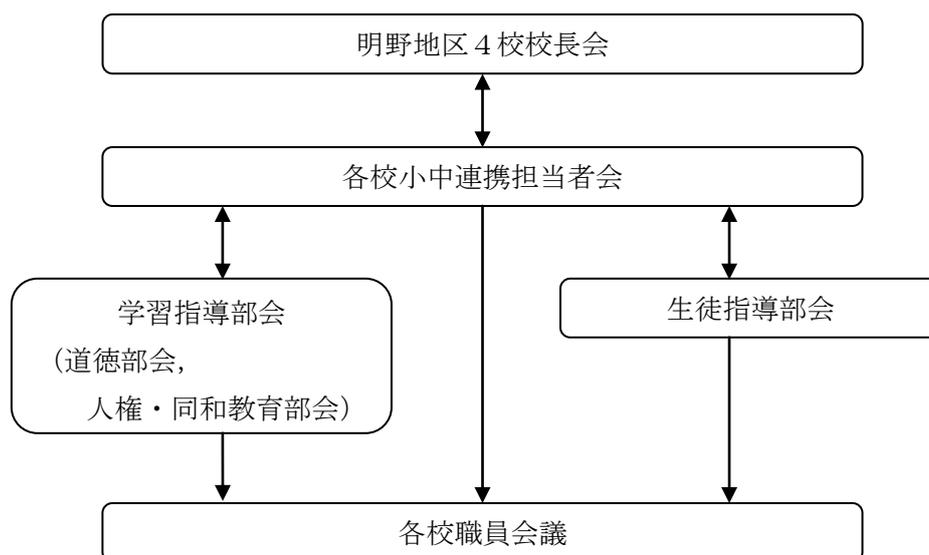
## 2. 小中一貫教育の取組内容

- (1) 出前授業や体験入学を通じた小中学校間の授業交流
- (2) 新旧担任の会や小中連絡会等を通じた情報交換や生徒指導の工夫改善
- (3) 教職員の授業見学等を通して指導力の向上
- (4) 学校行事における児童生徒の交流
- (5) 教職員による研修会

## 3. 小中一貫教育の推進の方法

- (1) 年度当初、4校校長会にて、活動の確認及び承認を行う。
- (2) 各校の意見をまとめながら、担当者会議において企画・立案・実践・反省を行う。
- (3) 学習指導部・生徒指導部・事務局の役割分担を明確にしたうえで、互いに連携しながら活動する。
- (4) 各校の独自性を尊重しながら活動を進める。

## 4. 組織



## 5. 確認事項

- 児童生徒や各学校の状況に応じて活動を展開する。
- 事務局を中学校におき、明野地区4校の校長会の指導や承認を受けながら活動する。
- 活動は、単年度で活動の総括を行いながら次年度の活動を決定していく。